

## 【アララン・ドロン】

第72回カンヌ国際映画祭で、フランスの俳優アララン・ドロン(83)に名誉パルムドールが贈られました。60年を超える映画界への貢献をたたえられてのことです。

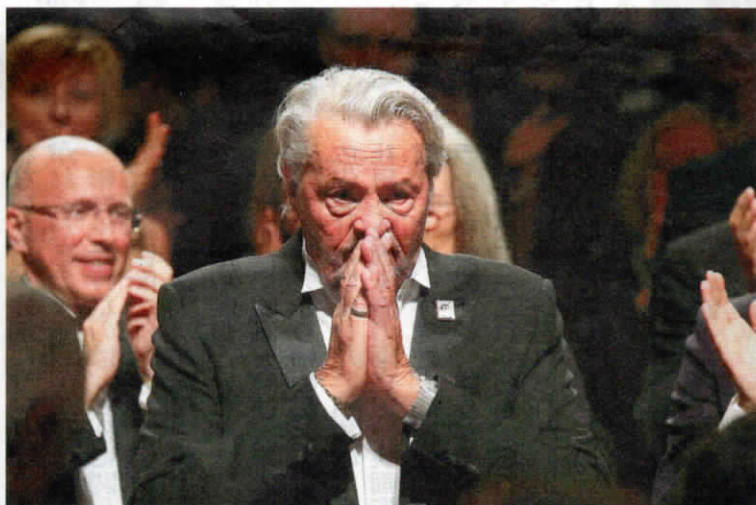
1960〜80年代のフランス映画は、ドロン抜きに語れません。メンズファッションのスタイルアイコンとしても彼の功績は別格です。カミソリ級に鋭い頬骨、冷血そうな視線、眉間に寄せたシワ、酷薄な唇……。目を

Style  
アイコン

離せなくなる表情は、とりわけ殺し屋や詐欺師、悪漢を演じるときに強い魅力を放ち、身に着けるものまでセクシーに見せてしまうのです。

孤独な暗殺者を演じた「サムライ」では、ダブルのトレンチコートの前を閉じ、襟を立て、中折れ帽を目深にかぶり、無表情で仕事を遂行します。アンチヒーローの危険が香るこの姿は、いまでもコートスタイルのお手本として引き

## 闘う83歳 あふれる色気



ロイター

合いに出されます。

「ボルサリーノ」で見た、無頓着で粋なダブルのストラップスーツのスタイル、「太陽がいっぱい」でたばこをくわえながら披露した、胸元までボタンを開けたワイルドなシャツ姿もわかり。コートやスーツ、帽子やシャツといった、あらゆる男性服の着こなした例にドロンがいるのです。

ビジネスマンでもある彼はそんな効果を自覚して、時計、香水、サングラスなどでビジネスも展開しました。自身の神通力も衰えておらず、クリスチャン・ディオールは2009年と15年、男性用香水のキャンペーンで彼が出演した

映画の映像を使っています。

「美男子であることを人々に忘れさせるために、俳優として何年も人一倍奮闘した」というドロン。両親の離婚、幸薄い子供時代、従軍経験、ウェーターなどのアルバイトと数々の苦労も経てきたからこそ、並々な努力を重ね、60年以上も第一線で活躍することができたのでしょう。

「今日はキャリアの最後であると同時に人生の最後」と涙ぐんだ83歳の顔は、美男子という「ハンデ」を克服して生き残る闘いを続けてきた人生の勲章として、別次元の色気を放っていました。(エッセイスト 中野香織)